

2021 年度 授業計画(シラバス)

学 科	看護学科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義
科 目 名	老年の健康維持への看護		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	1学年		学期及び曜時限		教室名	
担 当 教 員	太田 和江	実務経験と その関連資格	脳卒中内科病棟および 一般外科病棟 6年間勤務			
《授業科目における学習内容》						
加齢変化とともに生きている高齢者の健康を支える看護を学習する。「老化」に伴う健康障害としてとらえるのではなく、加齢に伴う健康の捉え方の変化としてとらえ、人生の最終段階を健やかに生きるために必要な支援を考える。成人期から変化している生体反応や起こりやすい問題をその人のもつ力を生かし、生活の中での工夫で解決する視点で学習してほしい。						
《成績評価の方法と基準》						
講義内で使用するワークシートの評価 30% 終講試験 70%						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
ナーシンググラフィカ 老年看護学①高齢者の健康と障害(メディカ出版)…① 老年看護学②高齢者看護の実践(メディカ出版)…②						
《授業外における学習方法》						
高齢者の興味関心を持ち、加齢について理解を深めておくこと						
《履修に当たっての留意点》						
ワークシートを講義内で自己で完成させていく方法で学習します。受け身ではなく自ら理解するよう、講義内の時間を有意義に使い、参加してください。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	高齢者とのコミュニケーションの援助を理解することができる	①P280～287 ②P93～95	老視 老人性難聴 コミュニケーションの原則	
		各コマにおける授業予定	加齢に伴う視聴覚機能の低下 高齢者のコミュニケーションの特徴 高齢者との会話のすすめかた			
第2回	演習形式	授業を通じての到達目標	高齢者の食生活とその捉え方を理解することができる	①P288～290 ②P12～40 ワークシート	食事に影響を及ぼす要因 脱水	
		各コマにおける授業予定	高齢者のとっての食事の意味 食文化 食事と栄養のとらえ方 高齢者の低栄養・脱水の機序			
第3回	演習形式	授業を通じての到達目標	高齢者の食生活の変化とセルフケアの支援を理解することができる 摂食嚥下障害、低栄養の看護とその評価が説明できる	①P288～290 ②P12～41 ワークシート	摂食嚥下障害	
		各コマにおける授業予定	脱水の評価と看護 摂食嚥下障害の評価と看護 低栄養の評価と看護			
第4回	演習形式	授業を通じての到達目標	高齢者にみられる特徴的な排泄障害を説明できる	②P41～63 ワークシート	下痢 便秘 頻尿	
		各コマにおける授業予定	尿失禁の種類 便失禁、便秘の種類			
第5回	演習形式	授業を通じての到達目標	高齢者への排泄の援助を理解することができる	②P41～63 ワークシート	おむつの種類 便秘に対する援助	
		各コマにおける授業予定	尿失禁の評価と援助 便秘の評価と援助 摘便 おむつの選択			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	高齢者の身だしなみと整容の特徴とその援助を理解することができる	②P64～75	整容 衣生活
		各コマにおける授業予定	高齢者が整容することの意義 高齢者のおしゃれ		
第7回	演習形式	授業を通じての到達目標	高齢者の口腔と皮膚の特徴を考慮した清潔援助を説明できる	②P64～89 ワークシート	義歯 口腔ケア 老人性皮膚掻痒症
		各コマにおける授業予定	口腔ケアの重要性とそのポイント 義歯の取り扱い 皮膚トラブルを考慮した清潔援助 感染予防		
第8回	演習形式	授業を通じての到達目標	高齢者の活動と休息の援助を理解する	②90～113	サーカディアンリズム
		各コマにおける授業予定	生活リズムを整えることの意義 良質な睡眠への援助 休息の重要性 睡眠とせん妄		
第9回	演習形式	授業を通じての到達目標	高齢者の活動を捉える方法が説明できる	②P114～128 ワークシート	ADL 心肺機能 姿勢
		各コマにおける授業予定	基本動作の把握方法 ADLとIADL 活動に影響を及ぼす加齢変化		
第10回	演習形式	授業を通じての到達目標	高齢者の転倒転落、転倒リスクとその看護を理解できる	②P114～129 ワークシート	サルコペニア ロコモティブシンドローム
		各コマにおける授業予定	転倒リスクのアセスメント 転倒後症候群をもたらす影響 骨折と骨粗鬆症		
第11回	演習形式	授業を通じての到達目標	高齢者の廃用症候群予防の看護を説明することができる	②P129～141	廃用症候群 生活不活発病
		各コマにおける授業予定	廃用症候群のリスクとアセスメント 日常生活機能維持の重要性とその看護		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	高齢者のセクシャリティを理解することができる	①P291～296	性機能 セクシャリティ
		各コマにおける授業予定	加齢に伴う性機能の変化 高齢者の性行動と性生活		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標	高齢者の住環境とその支援を理解することができる	①P297～314	高齢者施設
		各コマにおける授業予定	セルフケアを妨げない住環境 自宅、施設のアセスメントとその調整		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標	高齢者の社会参加への援助を理解することができる	①315～322	老人クラブ 高齢者大学校 勤労高齢者
		各コマにおける授業予定	アクティブエイジング 地域における社会参加 高齢者のこれからの社会参加		
第15回	演習形式	授業を通じての到達目標	高齢者の集団活動を企画実施できる	①315～323	レクリエーション企画書
		各コマにおける授業予定	レクリエーションの実施と評価		